

# 岩屋山 観音たより

発行所：和歌山県

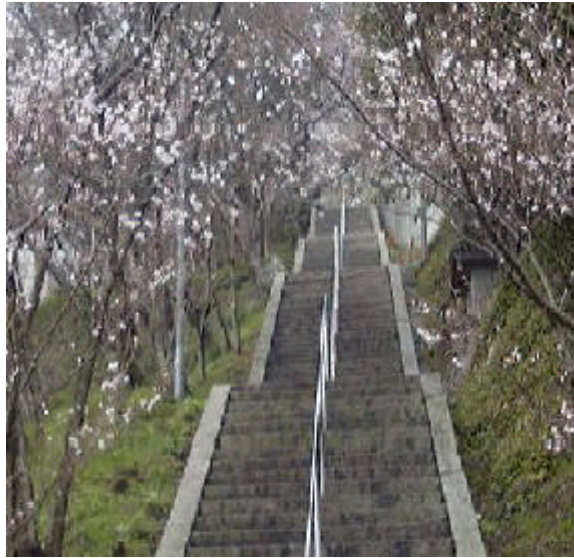
海草郡下津町橋本一〇六五

福勝寺内

電話 (073)4941031  
編集人：本多碩峯

修行僧・同行二人 本多碩峯

## 二十一世紀は生きがいの創造(一)



あなたはあなた自身の職場を生きがいある場所と感ずますか。あなたが持つておられる能力があります。  
人間には手が御座います。ご承知のようには一本あります。この二本お手を同時に同条件で、同じように使える人もいます。これが両ききです。しかし大部

仕事を選ぶことぐらい不幸なことではない。これはその人を廃人にしたり、著しい劣等感をもたせてしまうことになる。これは教師や先輩、あるいは職場の上司といった人々が出来れば後輩達に指示しなければならぬ愛情だと思えます。

### 3月26日頃の境内の桜

分の人は必ず左ききか右ききになる。又 私たちはアナログ情報とデジタル情報も同じ様なことが云えるかと思えます。  
私たちが職場に生きがいを感じるということは自分の人生に自信をもつて生きられることです。その人が何をやるつもりか、しているかが適当でないならば、創造性など出てこようはずがありません。従って、自己のパターンに外れた方向へ、自分の

## 真理の花たば



「先氏の風を貴ぶ」  
先祖の生き方を貴び、それを手本として生活する。

弘法大師講本部・四国六番安楽寺  
住職・畠田秀峰師書

以前に「仏教思考はアナログ思考キリスト教思考はデジタル思考」を述べたことが御座います。東洋人即ち日本人は歴史的にアナログ思考を得意とされていると思えますが、人間には二本の手が両ききの人が少ないように、アナログ・デジタルの双方の思考を得意とする人も少ない。コンピュータの仕事でなく一般の仕事にアナログ・デジタル思考が重要な役目をするがあると思えます。  
適切な助言アドバイスが大切だと思えます。

### 明日への装を提案します!

寝装・和装・洋装・総合繊維卸

株式会社 **マスメン**

代表取締役 増田都司夫

本社

〒640-8376 和歌山市新中通2丁目8  
TEL (073)424-4466(代表) FAX (073)436-6508

### 豊かなまちづくりに参加します!

株式会社 **田淵建築設計事務所**

代表取締役木田耕蔵

本社

〒640-8287 和歌山市築港4丁目2-1

### 欧米式経営と

#### 生きがいある経営

今日、新聞や雑誌の報道される栄枯盛衰の情報に接し、昭和四十六年(一九七五)頃に当時技術革新、資本自由化に対処し、今日並にショックを受けず頑張っている会社がある。三十六年前にその会社が言っている。

まず第一に、いままでのような欧米式経営方式を遵守してゆくことには限界がきた、ということです。ご承知のように、経営の根底にアメリカ経営学というのはい言っていますといわゆる体制論でありまして要するに組織が仕事をするのだという考え方によって貴かれております。例えば、目標管理制度という管理方式などはその一つです。

これは専門の社員や、企業内エリートを負担するスタッフによって、最も合理的かつ科学的に決められたとされている目標値を、ラインの従業員に実行させるという制度です。ところが、こいつは硬直した官僚的な臭いの強い管理制度を守っているのでは、現在の技術革新、あるいは資本自由化の中で、企業を発展的に維持してゆくことはむずかしいといわれています。

ではそれはどうすればよいかと申します。

何よりも大英断をもってスタッフ部門を縮小し、制度を尊重した目標の押しつけをやめる。

入れ替わって生産を実際に達成する側の本人に目標を設定させる方法を採用することでありませう。

つまり自発的な目標設定制度の創造が主張されているのです。

一言でいいますと生産を担当している人間を信頼して仕事を任せる事でありませう。これがマネージメント・フィロソフィー(経営理念)を意味するのであります。

組織に依存してことたれりとしてきた近代的管理制度が、組織構成員であります個々人の、個性、創造性、或いは自発性といったものを、最大限に引き出す為の経営理念に行き当たったのです。

その営利目的の故に、長く組織内での個性却のマネージメント・フィロソフィーを守り続けてきたのではないでしようか。今日のより厳しい経営条件を転機として個性尊重、自発性堅持のマネージメントを打ち出して、これが純然たる私企業の営利目的に合致し始めているといっています。自発性と生きがいは車の両輪です。

#### 仏教経済学

仏教に八正道の一つに「正しい生活」があります。仏教経済学があつてしかるべきで、E・F・シューマハー(一九二二-一九七七)がイギリス石炭公社に勤務しながら

比較宗教学を研究するのに費やした。この期間が彼の内面生活の実り豊かな転換期であつた。先ず主に東方の宗教学を学び、講義を聴き、瞑想の実践をおこなうた。時間をかけて、そして抵抗しながらも青年時の無神論を捨てようになり、より高い存在の秩序があるかもしれないと認めるにいたつた。その彼の理論を通して考察するに、今日の日本の経済状態は、今、様々な好ましからぬ現象、なかでもデフレを伴う悪質な経済危機の終わりの局面にいます。

しかも経済危機に重なり三重の危機=資源の危機、生態系の危機、社会の危機は依然消えず、その度合いを強めている。仏教的経済学から考えると現代経済学はモノを尊び人間の創造的活動よりモノの消費を重視する。仏教経済学は文明の核心が欲望を増長する事ではなく人間性を純化することにあると考えるのであるから現代の唯物主義の経済学とは当然著しく異なってくる。人間性はおもに仕事を通して培(つちか)われる。自信を持つてのびのびと仕事をすれば、仕事をやる当人とその作る物は素晴らしい物になる。

唯物主義は主としてモノに関心を払うのに対して仏教者(徒)は解脱(悟り)に主たる関心を向ける。だが、仏教は、中道であるから、けつして物的な福祉を敵視しない。解脱を妨げるのは富その物でなく、富への執着なのである。



大切な法事料理は  
経験豊富な三都家  
におまかせ下さい!

お昼は日替わり献立  
で皆様をお待ち  
しています!

〒640-8393  
和歌山県和歌山市畑屋敷端ノ丁24  
TEL(073)423-3355 FAX(073)422-4522



皆さんのスーパー  
株式会社 **みち屋**

代表取締役 **道畑 勇**

本 部 和歌山市岩橋 7 2 9 番地の 6  
TEL (073) 473-4197  
松 島 店 和歌山市加納 2 4 6 番地の 1  
TEL (073) 474 - 3500  
貴志川店 那賀郡貴志川町大字北山 5 1 7 番地  
TEL (0736) 64- 7020

楽しいことを享受することそれ自体ではなく、それを焦(こが)がれ求める心なのである。仏教経済学の基調は、簡素と非暴力である。

今日の経済学は、「生活水準」を測る場合、多く消費する人が消費の少ない人より「豊かである」という前提に立って年間消費量を尺度するのがつねである。

シューマッハーはこの考えを大変不合理であるといい、そのわけは消費は人間が幸福を得るの手段にすぎず、理想は最小限の消費で最大の幸福を得ることであるからである。と主張されている。

そこで、衣服で仏教の法衣から平安時代に発展的に開発された和服などは再生可能で消費を最小限にデザインを最も簡素で労力を少なく、芸術的想像力に時間を割くことが出来る。裁断しない布を巧みに縫ってゆくその出来映えは美しいものである。

現代のヨーロッパ風の手の込んだ仕立ては究めて不経済である。他の必需品についてもすべて当てはまる。モノの所有と消費とは、目的を達成するための手段である。

仏教経済学は、一定の目的をいかにして最小限の手段で達成するかについて組織的に研究するものです。  
これに反して現代経済学は消費が経済活動の唯一の目的であると考えて、土地・労働・資本といった生産要素をその手段と見る。

つまり、仏教経済学が適正規模の消費で人間としての満足を極大化しようとするのに対して、現代経済学は、適正規模の生産努力で消費を極大化しようとする。

消費を適正規模に抑える生活様式をとるには、最大限の消費への欲求を満たす場合よりはるかに少ない努力で足りることは見やすい道理である。

「すべての悪しきことをせず、善きことを実践する」という仏教の第一の戒律を守るこの出来る原点は、即ち簡素と非暴力との関係は適正規模の消費は、比較的に低い消費量で高い満足感を与える。これによって人々は圧迫感や緊張感無しに暮らすことが出来ます。

尚、仏教経済学では生きがいとビジネスは矛盾することなく、労働の中に共存すると考えるに反し、て現代経済学は労働は生産コストに過ぎない、故に限りなく労働を減らし機械に置き換え、限りなくゼロに近づけようとする。余暇と労働を全く切り離す考えであります。 次記号に続く

わたしの昼寝(ね)

六十二歳から山にいるときは、昼食後一時間昼寝(ね)をする習慣をつけた。  
人生というものは煎じつめれば、食ったり眠ったり、この事は健康である限り一番快いものである。  
世の中で最も重要な科学的哲学的発見の九割までは、実際、科学者や哲学者が深夜二時、あるいは夜明けの五時頃に寝床で寝ているときになされると本で読んで以来

夜中に目覚めた時に意識している。  
枕元には手作りの小さな読書棚に数冊の本、老眼、筆記用具を何時でも置いている。



手作り枕元本棚

世の中には夜勤で昼日中眠るものがある。だるうし、夜眠るものもいる。ここでいう「眠る」という言葉は、肉体的に寝ること、精神的に寝ること同時を意味する。両者はたまたま一致するからである。寝床に眠ることは人生最大の快楽の一つだと私は信ずる、この考えに賛成する人は正直者である。

これに反し、眠ることを礼賛せぬ人々は嘘つきであって、実際は昼日中、精神的にも肉体的にも寝ている連中である。  
そこで昼寝することの肉体的、精神的意義はどこにあるか。肉体的にいえば縁側で四季折々の小鳥の鳴き声、樹木の花を眺め、床に入って休息と安静と瞑想とに最も好適な姿勢をとることは、外界から切り離されて、完全に自分一人になることである。

床に眠るのに、正しい贅沢な臥方がある。読んで知ったが孔子は臥床(がしょう)するのに「寝不尸(いぬにし)か

ばねのごくせす」といったとか。  
つまり死屍(しし)のようになつてずれかを下に置いて、横にちじこまって眠る。頭は北に置く、釈尊の涅槃の形が私にとって人生最大の快楽の一つと信じている。

もちろん床に入って眠ることが、肉体的に休息であり、完全なくつるぎであることは認めるが、さらにそれ以上のものである。この昼寝することをたいとくすれば心の掃除がやれる。朝晩七時、七回梵鐘、午前の勤行、境内の掃除に山菜摘みに昼食後の昼寝とこんな贅沢はない。

最近、街のビジネスホテルが昼臥室でビジネスマンの休息の場となっているようですが、  
世の事業家達も会社内に臥床術(がしょうじつ)を取り入れ、瞑想、休息、安静で真の事業的頭脳で思考する。  
足ゆびが解放され頭脳が解放されたときにのみ、真の思考ができる。気楽な状態で反省し、次の重要な仕事に取り組む姿勢が出来上がる。

人間は横になっているときに五官が最も鋭敏であるという。こんなところに瞑想のヒントがあるような気がする。

私は大自然の素晴らしい環境で生活を営む最大の幸福ものであります。

台掌



# 二十一世紀に生かす私の密教

学生 本多 碩 峯



先ず始めに六十四歳にして高野山  
 大学で奥山直司先生の講義を受講す  
 る喜びをここに感謝申し上げます。  
 私事、マイクコンピュータ制  
 御機器の企業を上場準備中に十億円  
 負債を抱え倒産、挫折、どん底の中、  
 ワイフの見送りを受けて四国八十  
 八ヶ所徒歩の「懺悔と感謝と祈り」  
 の徒歩巡拝、以来郷里のお寺に早朝  
 参拝を続けながらの数々の業種のビ  
 ジネスを続ける中、「縁があって四  
 国安楽寺へ出家、約十年後の今日、

由緒ある岩屋山 福勝寺に修行僧としての  
 日々、勤行と境内の手入れ等を喜びの中に  
 生涯修行僧を送らせていただいております。  
 佛教・密教を独学する中で、高野山大学  
 で直接学びたい思いが、「現代社会と密教」  
 の講義題目に興味を抱き受講する機会を得  
 ました。明治以降の近代の伝統佛教が果た  
 した役割、真言密教と他宗、真言密教の政  
 治への関わり等、偏見を持たない奥山先生  
 の本来の宗教の普遍性を基とした講義姿勢  
 に感動を覚える。  
 「現代社会と密教を」とても一年間では  
 講義しきれない膨大なものを簡潔に纏めら  
 れ、この講義の総決算が今回の主題である  
 といっても過言でない。  
 この度、「二十一世紀に生かす密教」のシ  
 ンポジウムの講義を拝聴する機会を頂き、  
 主題に対して、僭越ながら末席の修行僧が  
 日々の勤行を通して考えるままに提案をこ  
 せていただきます。  
 歴史的な縁起(蓮如上人ゆかりの紀伊半  
 島浄土真宗発祥の地)、文化財(本堂・林鐘  
 楼)と祈願寺(紀州徳川藩主の祈願)を守  
 りながら二十一世紀を家庭問題(母親を  
 通して妻や母の輝く働きが家庭や社会の潤  
 いをもたらす)、国家の全と個の調和を図る  
 べく努力したい。

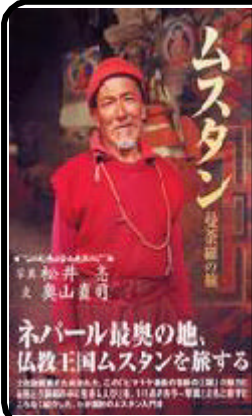
## 一 家庭

一一一 女性・妻・母

(宇宙の生きとし生けるものはすべて  
 みな、これ父であり母である。弘法  
 大師著書・大日開題)

真言密教精神、則ち曼陀羅の心の全と個  
 の調和、私は真言密教に強く魅れているの  
 は、この世界は無数の宝を宿している。人  
 は未だその宝を見つけ出せないでいる。そ  
 の無限の宝はすべて、自身の中に、「己自身  
 の中にある。世界・社会・家庭の無限の宝  
 を開発せよ。」といつ世界肯定の思想が真言  
 密教にあるからである。  
 弘法大師空海は身を六大であるといひ、  
 六大とは、地水火風空の五大に心を加えたも  
 のである。五大とは、物質的存在である。こ  
 の存在は無数の宇宙の中で唯一我が地球にの  
 み宿っている。しかも物質的原理に必ず精神  
 的原理が加わっている。この精神的原理が、  
 心といわれ、識といわれ、覚といわれ、智と  
 いわれるものであります。

真言密教によれば、あらゆるものは、物質  
 的原理、即ち五大と、心すなわち識から成  
 り立ち、その六つの存在、六大が互いに混じ  
 り合って、あらゆるものを構成している。す  
 なわち、それは、この世界であり、国家であ  
 り社会であり、家庭である。そして、そこに  
 存在している、一切の生きとし生けるものが  
 構成されているのです。  
 そのように、世界におけるすべての存在  
 は六大から成り立ち、すべてのものはすべて



第1章 地上最深の谷間  
 第2章 天然のマンドラの中へ  
 第3章 王城の四日間  
 第4章 カリ・ガンダキ河畔に還  
 第5章 百泉の流れるところ

松井 亮【写真】  
 奥山直司(高野山大学助教授)【文】

B6判 販売価額 ¥2,800円【税別】  
 中央公論社出版

文化財調査のため訪れた、この「ヒマラヤ最後の禁断の王国」の魅力と自然との融和の中に生きる人びとを、101点のカラー写真とともに余すところなく紹介した、わが国初のムスタン入門書。

のものをその内面に宿し、しかも、その世界そのものの中心に大日如来がいて、そしてそれを、多くの仏菩薩がとりかこんでいるとすれば、われわれは、われわれ自身の中にすべての世界が宿し、われわれ自身の自己の中心にも大日如来をはじめとして、様々な仏菩薩を引き入れることが出来る。

そこで、私たちの家庭を考えてみますと、家庭のすべてのものは六太から成り立ち、家庭の中心に大日如来が存在して、多くの仏菩薩がとりかこんでいると考えれば私たち家族の一人一人にもその世界が宿し家族の一人である私の中に偉大な大日如来が宿っているのです。また家庭の中心に宿し、育むのが女性である妻であり、母であるのです。

明治維新以来西欧化の中で、第二次世界大戦後の個、個人の自由と人権の解放の中で差別として女性問題が取り上げられ、ある意味では本来の家庭をすて、家庭内でも同一労働を求め、自由を家庭外に、同一労働同一賃金の人権を叫ばれ、今日に至ったが、家庭内での女性の役割、すなわち、真言密教のいう全(曼陀羅)の包括的な中に妻という、母という個性の輝きや家庭の潤いを崩壊させてしまったと考えられます。この事が今日の子供の虐待、青少年少女問題、

校内暴力、教育者の許せない犯罪、物質優先の企業理念から派生する諸問題、大人達(男女による)不道徳な諸問題、政治家の犯罪等の根底に家庭仕組みの崩壊によると考える一人であります。実はここで問題提起をさせて頂きたいのであります。

従来日本の家庭で営まれてきた、妻、母の家事、妊娠子育て、老人介護の働きが如何に偉大で素晴らしい働きであるかの国家的な仕組みの中に、女性の輝き、潤い女性の家庭を思う慈悲喜捨の精神を認められていなかった事が大きい問題であった。

女性が個性を輝かせる場所や、職業を考慮するとき、家庭内の主婦業も家庭外のビジネスも同条件で選ぶ権利が持てるように家庭での主婦に「国家から主婦給料」なる手当を出すことで、女性の家庭内での働きに輝きと家庭の潤いが生まれ、家族に幸せの窓が開くことでしょう。

社会教育の一環としても素晴らしい結果が生み出される事間違いありません。出来れば、衣食住の日本文化も問いただされ、土と木と竹の作りで小さくても縁側のある日本家屋で、午前の忙しい働きを終えたとき、日本茶で一服できる主婦の生活は、家庭内の老人の介護もそれまでの手助けになった事への感謝を考えれば主人の協力を得て潤いある生活は出来ると確信します。

一・二・男性・夫・父

その為には夫であり父である男性の理解が非常に大切となります。

出来れば、妻と共通の趣味を通して夫としての妻に対する理解を示す。入我我入、主と従とが入れ替わり、助け合う理念が夫婦に必要であり、助けてくれる世界には雑草が生え

ます。死後の世界には雑草すら生えないのです。

南方熊楠が非常に興味を持って彼の研究対象にした粘菌は非常に環境に恵まれない所に育ちます。

熊楠はいのちが実在する相(すがた)を顕照して、空海の哲学に没頭した。無限の広大無辺な大宇宙で五大が宿すところに生きとし生ける一切のいのち(宝)が宿っている素晴らしさを証明している。余談ですが、この生物で酸素を吸って炭酸ガスを排出する不思議な生物が今、バイオの最先端科学(プラスチック分解)で生かされようとしていると

熊楠は西欧の科学を後追いつける者に空海の教えの真言宗には真言科学があるじゃないかと激高される言葉が書簡に記されている。

家族がどんなに経済的に豊でも、一方どんな底の貧困や、病に苦しんでも人間はこの世界に生かされている

限り、五大要素が宿る世界の心に、いのちある雑草が生えます。

昔の農家は作物に、たい肥をやり、時には糞を散布し精魂込めて育てます、同時に雑草も喜んで生えます。その雑草を抜き取り、たい肥にしたり、或いは焼いて酸性度の日本の土に焼け草の灰を畝に返してしました。同じ事です。生かされたこの世界の人間の心に雑草が生えるのです。

人間の世界から一方的に眺めると作物の生長を妨げる何者でもありませんが、曼陀羅の世界から眺めると、生きとし生ける一切のものの生物のいのちであるので

雑草もよく眺めると綺麗な花の咲く草も数々あります。お互いに生かし合う生活、生かすいのち」とはこの意味であります。心の雑草を取り込んで汝の心のたい肥とすることは真言密教の瞑想の実践であります。

- 一・三・社会教育とポランディア
- 一・三・一 子供親と一緒の社会教育

ここでは子供の教育問題を考えます。僭越ですが体験を通して私見を交えながら提案したい。

私たち夫婦には子供が御座いません。若いときには「本多さんお子さんは」と聞かれると「子供がいななんです」と心えます。多くの方は「寂しいでしょう」と慰めのつもりで心えられます。

年の数が過ぎてきますと、同じ問いに

同じ心えをしますと必ず「苦勞しなくて良いですね」と羨む心で語られます。

振り返りますと結婚して5年ほどすぎて気が付くことが御座いました。人様は「寂しいでしょう」の慰めに、元々子供がいない私たちの家庭に「寂しさ」が分かりませぬ。慰めに何とも頼りない返事をしていたのですが、ある時、子供を事故でなくしたご夫婦のことを知り、子供のいない寂しさを知ったのです。

元気に成長しているお子さんが事故でなくしたご夫婦の寂しさを始めて知って、私たち夫婦はこれで良いだろうかと考え、その結果、ボーイスカウトの指導者の道を選ばせていただき、日本ボーイスカウト兵庫連盟西宮支部を訪れ、早速、快く指導者講習を受講、隊長を拜命し、数々の素晴らしくもあり悲しい体験も隊員の家族と一緒にさせて頂きました。私の原隊も今年で西宮十一団発団三十周年記念を迎えることになりました。思えば隊活動の前には必ず両親の住んでいる(自宅)方角に各自向き、瞑目合掌で「おとうさん、ありがとう!、おかあさん、ありがとう!」からはじめさせて頂きました。あの子供は隊長僕にお父さんいない

のです、ぼくはお母さんがいないんです。と訴える気持ちで語ってくれます。一緒にいなくても君にはお父さんお母さんがいるから今、ここにいるのだよ!と素直に理解させ各自思い思いに瞑目合掌致しました。

デンタット名のお父さんが二名ほど、デンマダー名のお母さんが二人ほど必ず隊長を補佐していただくのです。

他人さまの集まり、でも、隊員の子供が家族の兄弟です。活動の場の大自然がお父さんであり、お母さんです。共同の活動の作業にお寺やお宮など境内の清掃のボランティア、キャンプなどの設営作業、大勢の子供のゲーム等々その中に個人の個性を自ら発見する数多くのテーマ(写生)彫刻、スポーツ・・・の経験の中から特に興味あるテーマを深く探求するシステム。

学校でありませぬから隊員個人の個性を大切にその個性がより輝きを増す基盤作りがボーイスカウトでありました。

兄弟の意識は「和」の精神、すなわち、何事も辛抱し合う心の大切さと「生かせる」の先の己の価値を認め、愛する優しさの心、己の憂い、相手の憂いを認める優しさを発見すること。いのちを生かすことを学ぶ場所でありました。

どんなハンディキャップのある子供でも自分自身の価値あるものを認め、相手の価値を認め合うことが出来る「自分を

愛することが出来る子供、ハンディキャップの不自由さと共に生き、憂いと共に生きる姿に優しさが芽生える子供」。

『生かせるのち』大切ないのちを生かせることが出来る環境は自然一杯の福勝寺、ここに瞑想が出来る道場を開設することから始めたい。

お葬儀を営まない我が福勝寺で一週間に一度家族お揃いで気楽にお見え頂く瞑想道場として人生の旅を楽しくさせて頂くよう入我我入、自然と一体になる瞑想道場を提供させて頂くことをここに誓います。

生かせるのち!

南無大師遍照金剛



境内に咲くフキノトウ



自然と歴史が、  
あなたを変える

明治維新以降、欧米化がすべて良い事といった風潮が続いた。大学に於いても今もって欧米のアカデミズムが主流である。しかし、ここ高野山は違つ。愛」と「慈悲の教えの違いは文化の違いとして日本的な、いや、アジア的な世界観を持っている。神と人の契約を尊重する社会と人も含めた自然の摂理を戒律とする社会の成り立ちの違いだ。

本来「学問」とは、就職に有利だから学ぶのでなく、知りたいから、極めたいから学ぶのであってそこに合理的な計算は、成り立たない。

「知りたいからそれ以上の理由は必要ないはずだ。学びたい者だけ集まりお互いに知的好奇心を刺激しあう。それが学問の本来的姿ではなかつたか?

決められたカリキュラムに乗って進むのは、もうよししよう。高野山の自然と歴史の中では、すべての計算が無駄なことだから。

(高野山大学案内より)



# 日本ボーイスカウト兵庫連盟西宮第十一団 三十周年記念行事に参加して

當舎侃團委員長の招きで、二月十八日二十年前、当時、十二・三歳の濃紺の制服に身をまとった子供たちを思い浮かべながら和歌山から高速道路を会場である関西学院会館へ走らせる。

スカウトマンの荘厳な式典も感動の中に終了する。「ヘーデンパウエル郷の言葉に」自分のカヌーは自分で漕ぐ」を理念として育んでいる当時のカプ隊員が本多隊長とこの日を掛けてくれる。皆んな四十年代後半の良いお父さんになっている。話が進むと「喜びも悲しみも幾年月」それぞれ年輪を刻んでいる。現代のカプ隊長・関西学院大学教授岡本仁宏氏から挨拶を受け

甲山・仁川ピクニックセンター・関西学院大学等々の環境の中で、素晴らしいスカウトマンの指導者に恵まれ育む第十一団の青少年の姿を後に会場を出る。



## 初代カプ隊長 本多碩峯

### 発団時の思い出

発団二十周年本当におめでとう御座います。思えば、当時、カプスカウトの子供達も今では四十代の立派なお父さんですね。発団時を思い出す前に、子供を持たない私たちが、何故ボーイスカウトのお世話をさせて頂いたかをお話しせねばなりません。

私たちが夫婦には子供がありません。元々子供に恵まれない者には、愛する子供を亡くした親御さんの寂しさなど分かりません。私には身体障害者の友人が多く、成長過程で障害者になった方と元々身体障害者の方とは大きな意識の違いを知ったのです。即ち元々の障害者の方には、本人は不自由との意識がありませんが、特に成長期に不幸にも障害者になった方は健常時との違いに大変なご苦労と心労が加わります。そこでボランティア活動で子供達に触れ、学び、お役に立てればと思ひ、学生時代のクラブ活動で磨いたアウトドアスポーツを生かそうと、今はなき当時、第一団山中委員長宅を訪れました。会った瞬間、温かい笑顔の山中委員長に「宜しくお願ひ致します」と、早速、指導者講習会を受講、

第一団カプ第二隊長を拝命いたしました。一隊には石井隊長という生え抜きの素晴らしい先輩隊長があられ何かと親切にご指導を頂きました。

後々、素晴らしい熱心な遠藤さんが推進者となって発展的に第十一団がスカウトマン・下地耕作先輩がボース隊長として発団出来ました。

仏教では「諸行無常」という言葉があります。今日、私は高野山真言宗の僧として生活を送っていますが、ボーイスカウトの活動の中に大自然は父であり母であり、デンダットやデンマザーをお兄さん、お姉さん、カプスカウト隊は家族の兄弟である。大自然の小鳥や時には狐や兎、そして足下に生える野草、一切が生きてし生けるもの、私たち兄弟も、その生き物の仲間である。この宇宙と大調和の中に生かされてカプスカウト隊員、隊員一人一人が個性を尊び発揮し、成長する。私たち日本人が二十一世紀にユートピアとする世界が顕現する。

日本海、鳥取海岸で隊員全員が取り組んだ海砂の彫刻、大きな紙のキャンパスに全員が描き込んだ画など、無心に取り組むスカウトの表情が昨日のように思い出す。何事に直面しても笑顔で大切にしよう。



**LEC** **ミヤタケ**  
有限会社 **ミヤタケ**  
代表取締役 **宮下隆博**

〒640-8329  
和歌山市田中町4-119  
TEL(073)422-2327 FAX(073)436-5598



人に優しい音声発生装置!

有限会社 **日本メディテックス**  
代表取締役 **山口昭昌**

〒641-0054  
和歌山市塩屋5丁目5番43号  
TEL(073)446-2009 FAX(073)446-3696

元紀州徳川祈願所・  
当山岩屋山 福勝寺

不思議に例年、雨の天気予報が  
当日になると晴れ、温かい初午祭  
を迎える。

昨年が増し盛大賑やかな大祭が  
二石の大餅投げと共に無事終了致  
しました。



賑やかな風景写真がないのが断  
念、

当寺は真言宗ですが、蓮如上人  
ゆかりのお寺で、浄土真宗の信徒  
の方々の参詣者が多いお寺です。

今年は厳しい世相の中で迎える  
厄年の方の祈願の思いは真剣、明  
日に向けて、精進努力する決意を  
新たに祈る姿を後にする。

願いこめ 熊野古道を

初午に 千手観音

祈りし姿

初午祭盛況に

初午に祈る心

拝啓 此度は岩屋山福勝寺に於きまして  
旧初午式でご祈願なされ又国の重要文化財  
である本堂の御本尊千手観音菩薩の御前で  
厳肅にご祈願・餅投げをなされつつがなく  
式典を成就なされましたこと、真に喜ばし  
いことで御座います。

そのお印に同府の祈願札をそれぞれ四名  
に賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

昨今、日航機同志のニアミス事件、米潜  
水艦と水産高校実習船「えひめ丸」の衝突  
沈没、若き前途ある学生を含む九名の行方  
不明者、国会では、問題で紛糾し、それ  
でも内閣不信任案は否決されて森政権続投  
といながら水面下では森おろしに又、密  
室協議で話をしている自民党、ロシアの古  
くなったミールが日本上空を通過して落下す  
るといふニュース、株価はどつどつしょうそ  
れに追い打ちをかけるようにアメリカの株  
価も暴落、今大企業では春闘の時期とあつ  
て、賃上げ交渉に必死ですが、落ち込む消費  
低迷、作っても売れない、輸出も伸びず、安  
い野菜が輸入されて農家が打撃、景気は一  
向に上昇に転ぜず、先行き不安の中に海外  
旅行者は前年比増加、デパートの衣類も冬  
がちよっと寒かったこともあって、プラス  
売り上げ、特に三十万くらいのコートが売  
れたといつ、いわゆる二極化現象、貧乏人は  
必死に安いものをさがし、機密費事件はほ  
んの氷山の一角

どこの会社、どこの官僚もすべてやってい

ることで、それが日本の伝統的な体質、これが  
根本的になくならない限り、貧乏人はい  
つまでも貧乏人、役人は役得、昔、役者今芸能  
人といはれた人はクンショウをもらうくらい地  
位が逆転、うまい汁を吸って生きているのが賢  
いのであって、貧乏人は能なしの馬鹿の集団、政  
府は国民を手玉にとって、いいように政治を  
やっている。

大阪府知事の太田房江が土俵に上がりたとい  
いつて相撲協会から一蹴されました。女の政治  
家が考えるのはそこなしレベルの低さ、  
外国の密入国がどんどん増え(労働賃金が安  
いので建設業界では違反を知って採用)。  
大阪の長居公園などホームレスは急増するば  
かり、

とにかく今は、生活はし易いです。なにしろ  
輸入品が安いからです。そのために国内産業は  
軒並みダウン、倒産ラッシュ。  
日銀がいくら公定歩合を引き下げても何の効  
果もなし、皆、個々の力が弱くから合併／＼の  
大合唱、しかし、それも一時的なもの、不良債  
権は未処理のまま、赤字国債はもう天文学的数字  
一つの山村の村役場の一収入役が一人で十五億  
円も使うも誰もそれを知らなかったというので  
すから呆れます。

もう今は、道徳は地に落ち、まさに国が滅び  
ようとしています。  
森総理の後継者が決まらないというところに  
今の日本の悲劇があります。いつれ日本丸は沈  
没します。しかし、国民の生活は変わりません。  
トップが入れ替わるだけです。

日の丸の旗を揚げない。日本の国歌「君が代」  
を歌わないという世代が増えてくれば、自分達  
は「日本人でなくてもいい」といつているに等  
しい。

生活が平和であればアメリカのジャ  
パン州の一つでもかまわないといつて  
いるわけです。ところがそうなるこ  
生活は変わらないどころか変わりま  
す。先ず、英語を憶えなければなら  
ない、「徴兵制度」もしかれて二十歳に  
なればいやでも二年間、軍隊生活を  
しなければならぬでしょう。国民  
の皆が、そういう危機感が全くない。  
海外外国企業がどん／＼日本に進出  
して来ます。国民の皆はそれを知ら  
ないのでしょか。「日産自動車」が  
いい例です。この二、三年で全部「日  
産自動車」になります。  
平成十三年三月八日  
神戸市 在住の者 敬具

編集後記

子供の頃に見聞する商人・軍人・役  
人・政治家には民衆の盾となる行  
動や言葉を残し人の素晴らしさを字  
んだものだ。  
今新たな問題は情報巨大都市(メ  
ガポリス)化で地方特に環境の素晴  
らしい田舎がIT飢餓に餓えようと  
している。中国を含む東南アジアの  
問題は当に都市近代化で人口が都市  
に集中、機械化で失業飢餓の増加、反  
面農業地帯の農業経済の破綻、飢餓  
農民の増加、解決の糸口に中道の仏  
教経済学の到来を願う。

交通戦争と云われ今日、空海でさ  
え自由往来が出来ない。紀州は遠い  
昔から情報は海路で、生活は山間で  
和む土地柄の風情も今は昔。